

**第4回** 12月1日(土) 13:30~14:50(受付13:00~)

## W.H.カミングスが愛した音楽 その2

### 蔵書の蒐集と「国立音楽図書館」設立の夢

講師 佐々木 勉 氏 (立教大学・慶應義塾大学・放送大学講師、  
元名古屋音楽大学教授)

南葵音楽文庫の中核をなすのは、W.H.カミングス (1831~1915年) の旧蔵書です。実は、彼は、楽譜や音楽書などの音楽遺産は、自国のもの、他国のものを問わず、国立の音楽図書館で保存すべきと考えていました。それは、蔵書家として知られたカミングス自身が、貴重書を蒐集するために先輩蔵書家たちの蔵書を、その死後に催される競売で落札することを通して導き出した結論でした。カミングスの提言「国立音楽図書館の設立」(1877年)を紹介しながら、その考えに至る、彼の貴重書蒐集の様子を当時の競売カタログや南葵音楽文庫収蔵の楽譜などから探ります。(佐々木 勉)



W.H.カミングス

# 平成30年度 なんき 南葵音楽文庫定期講座

場所：和歌山県立図書館 2階 講義研修室

**第5回** 12月2日(日) 13:30~14:40(受付13:00~)

マルキ・トクガワ

## 徳川侯爵交遊録~大音楽家と出会った日本人(3)

### プッチーニ:届かなかった楽譜

講師 篠田 大基 氏 (元慶應義塾大学DMC機構助教)

音楽に造詣の深かった徳川頼貞は、生涯にわたり沢山の世界的音楽家と親交を深めました。今回は近代イタリア・オペラの巨匠 G. プッチーニ (1858~1924年) との交流のエピソードを、頼貞の著作からご紹介します。1921年4月、ヨーロッパ外遊中だった頼貞はローマのホテルでプッチーニと面会します。「あなたは《マダム・バタフライ(蝶々夫人)》をどう思うか？」 そうプッチーニから尋ねられて頼貞が返した答えとは？ そして頼貞がプッチーニの次なるオペラのためにした協力とその結末とは？ (篠田 大基)



G.プッチーニ

### 南葵音楽文庫 「重要資料」の展示の紹介

第5回定期講座終了後、南葵音楽文庫閲覧室で引き続き、新規に選定された南葵音楽文庫「重要資料」について、専門家が解説します。間近に南葵音楽文庫資料の魅力を体感してください。

\*南葵音楽文庫には、音楽の研究だけでなく、音楽をめぐる社会、かつての演奏や演奏会、紀州徳川家の歴史などから、稀少で興味深い資料があります。それらを<重要資料>として新たに選定しつつあります。

主催 和歌山県立図書館

問い合わせ先 和歌山県立図書館 サービス課 TEL 073-436-9520

費用：無料

申込方法：下記いずれかの方法でお申し込みください。受付後に整理券を配付（送付）します。

- ① 県立図書館 1階 総合カウンターで参加申込書を提出する
- ② FAXで参加申込書を送付する ※返信先のFAX番号を必ず記入してください。
- ③ メールで申し込む ※申込者の氏名と参加希望講座を記入してください。  
返信メールが受信できるように設定をしてください。
- ④ 往復ハガキで申し込む ※申込者の氏名・住所・電話番号・参加希望講座を記入してください。

※申込者が複数の場合、必ず代表者を含む全員の氏名及び参加希望講座を記入してください。

申込受付：平成30年11月1日（木）～ 定員になり次第締切

※申し込み状況によっては、両講座を受講できない場合がありますので、ご了承ください。

申込先：和歌山県立図書館 サービス課

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7-3 8

FAX 073-436-9511

E-mail event2018@lib.wakayama-c.ed.jp（申込専用アドレス）

※「参加申込書」は県立図書館ホームページからもダウンロードできます。

ホームページアドレス <https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/>

各講座共通

## 『平成30年度第4回・第5回南葵音楽文庫定期講座』参加申込書

参加者氏名等を記入し、希望の講座に○を付けてください。

※両講座に申込みいただけます。

フリガナ 氏名	第4回 12月1日（土）	第5回 12月2日（日）
電話番号		
FAX番号		

複数申込みの場合は、下記に氏名の記入と希望の講座に○を付けてください。

	氏名	第4回	第5回
1			
2			

申し込み先

和歌山県立図書館 サービス課 FAX 073-436-9511